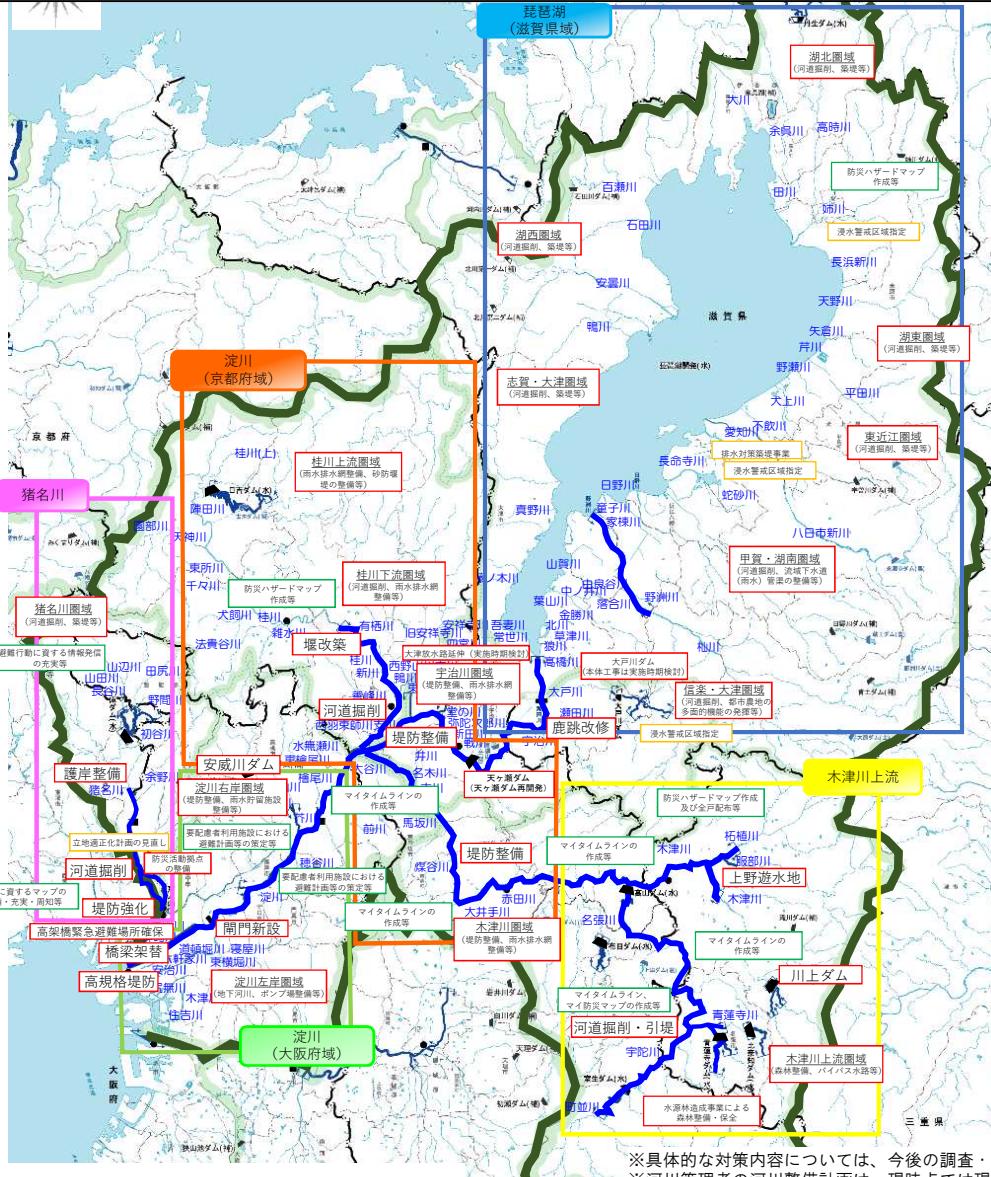


# 淀川水系流域治水プロジェクト【位置図】

【全体版】

～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、淀川水系においても、下流部ではゼロメートル地帯が広がり、上流の宇治川・瀬田川、木津川、桂川においては、琵琶湖からの流出部をはじめ、岩倉狭、保津峡と呼ばれる狭窄部が存在し、猪名川においても銀橋周辺が狭窄部となっていることを踏まえ、上流域では、川上ダム建設や天ヶ瀬ダム開発等による洪水調節機能の向上を、下流域では、洪水の流れを阻害している阪神なんば線の架替等の事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



## ●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、河道拡幅、築堤、高規格堤防、天ヶ瀬ダム再開発、川上ダム、安威川ダム、上野遊水地、鹿跳改修、橋梁架替、地下河川、バイパス水路、堰改築、大戸川ダム（本体工事は実施時期検討）
- ・流域下水道（雨水）管渠の整備、公共下水道（雨水）管渠等の整備、雨水ポンプ増強
- ・雨水貯留浸透施設の整備、開発行為に伴う調整池の設置、ため池の治水利用
- ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- （関係者：国、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、大阪府、三重県、水資源機構、土地改良区、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、奈良市、天理市、日野川用水施設管理協議会、甲賀市、守口市、伊賀市、川西市、伊丹市、尼崎市、池田市、枚方市、大阪広域水道企業団、守口市、名張市、中部電力（株）、いぶき水力発電（株）、阪神水道企業団など）
- ・森林整備・保全のための治山対策等、砂防事業（堰堤）の推進による雨水・土砂・流木の流出抑制対策
- ・農地・農業水利施設の整備・保全
- ・水源林造成事業による森林の整備・保全
- ・道路高架区間等の緊急避難場所確保 等

## ●被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導
- ・建物等の耐水機能の確保・維持
- ・浸水範囲の限定・氾濫水の制御 等

雨水幹線 事例



京都府 桂川右岸流域下水道雨水対策

## ●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備
- ・広域避難計画等の策定 ・マイ・タイムラインの作成
- ・要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施
- ・「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
- ・住宅再建共済制度への加入促進 等

雨水貯留施設 事例



防災拠点整備 事例



避難行動タイムラインの作成 事例



南山城村 住民を対象にした防災研修

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。各エリアの主な対策を記載しており、各エリアの詳細については、別途分会（詳細図）を参照してください。  
※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。  
※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 水系全体【ロードマップ】

【全体版】

～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

●淀川水系では治水安全度の著しく低い桂川の河道掘削等を推進しつつ、淀川本川も含めて全川的に水位を下げる川上ダム建設や天ヶ瀬ダム開発等による洪水調節機能の向上や本川の水位を低下させる阪神なんば線の架替を進め、本川の治水安全度を堅持しつつ、中上流部の治水安全度の向上を図る。また、大阪都市圏を抱える下流においては、近年頻発する超過洪水への対応や避難高台等にも活用できる高規格堤防の整備を推進し、水害リスクの軽減を図る。

【短期】川上ダム建設や天ヶ瀬ダム開発等により淀川本川の流量低減対策を推進し、中上流部の河川改修を推進する。下流部では堤防強化や高規格堤防整備事業による質的強化を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、立地適正化計画の見直し・策定による土地利用誘導の被害対象を減少させるための対策を実施。

【中期】阪神なんば線架替事業を完成させるとともに、中上流部の河川改修の推進と高規格堤防整備事業の推進を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、避難に資するマップ等の整備・充実・周知等のソフト対策を実施。

【長期】中上流部の河川改修の推進と高規格堤防整備事業の推進を図る。あわせて、下水道整備による浸水対策や流出抑制対策（雨水貯留施設等）、避難に資するマップ等の更なる充実・周知等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備・河道掘削・橋梁架替等	国土交通省、流域府県市町村等	名張引堤Ⅰ期完成（国土交通省） 川上ダム完成（水資源機構）	阪神なんば線橋梁架替完成（国土交通省）	
	ダム建設	水資源機構、大阪府等	安威川ダム完成（大阪府）	JR高槻駅北雨水貯留施設整備完成（高槻市） 楠葉排水区雨水貯留管等整備完成（枚方市）	
	流出抑制対策（調整池・ため池等）	高槻市、枚方市等			
	流域下水道（雨水）管渠の整備・老朽化対策	流域府県市町村等			
	砂防堰堤による土砂等の流出抑制対策	国土交通省、流域府県市町村等	立地適正化計画の見直し（豊中市）	立地適正化計画の策定（長岡京市）	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画策定等	長岡京市、豊中市、高槻市等	居住誘導区域見直し及び防災指針策定（高槻市）	SOS避難メソッド等を掲載した防災ブック作成（摂津市）	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難に資するマップ等の整備・充実・周知	国土交通省、流域府県市町村等	要配慮者利用施設の避難確保計画策定（枚方市、京田辺市）		

気候変動  
を踏まえ  
た更なる  
対策を  
推進

## 【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■河川対策  
全体事業費 約9,912億円 ※1  
対策内容 河道掘削、築堤、高規格堤防 等

■砂防対策  
全体事業費 約129億円 ※2  
対策内容 砂防堰堤の整備 等

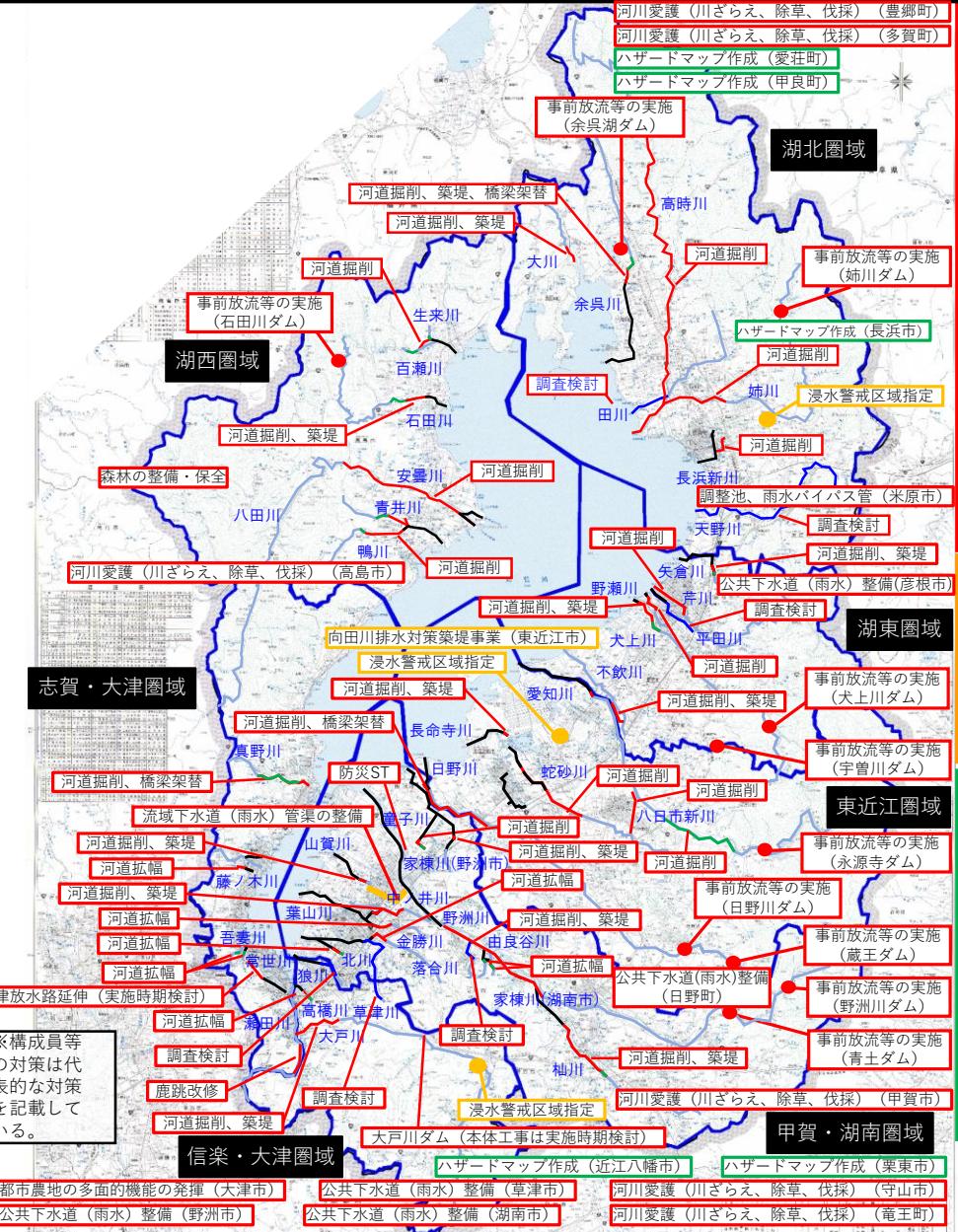
■下水道対策  
全体事業費 約5,513億円 ※3  
対策内容 流域下水道（雨水）管渠の整備、雨水ポンプの増強 等

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖(滋賀県域)分会 【位置図】

～琵琶湖流域人口141万人の「滋賀県民」の命を守る治水対策の推進～

○近年、気候変動の影響等により各地で激甚な災害が発生したことを踏まえ、琵琶湖流域においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。



## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 洪水氾濫対策

志賀・大津圏域 藤ノ木川(河道拡幅)、真野川(河道掘削・橋梁架替)、瀬田川(鹿跳改修)、常世川・吾妻川(河道拡幅)、大津放水路(延伸(実施時期検討))、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全

信楽・大津圏域 大戸川(河道掘削・築堤)、高橋川(河道拡幅)、大戸川(大戸川ダム(本体工事は実施時期検討))、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全

甲賀・湖南圏域 野洲川(河道掘削・築堤)、山賀川(河道掘削・築堤)、葉山川(河道拡幅)、中ノ井川(河道掘削・築堤)、金勝川(河道拡幅)、北川(河道拡幅)、由良谷川(河道拡幅)、童子川(河道掘削)、落合川(調査検討)、草津川(調査検討)、狼川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全

東近江圏域 長命寺川(河道掘削・築堤)、日野川(河道掘削・橋梁架替)、八日市新川(河道掘削)、蛇砂川(河道掘削)、愛知川(河道掘削)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全

湖東圏域 大上川(河道掘削・築堤)、不飲川(河道掘削・築堤)、芦川(河道掘削)、野瀬川(河道掘削)、矢倉川(河道掘削・築堤)、平田川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全

湖北圏域 余呉川(河道掘削・築堤)、鴨梁架替)、長浜新川(河道掘削)、姉川・高時川(河道掘削)、大川(河道掘削・築堤)、田川(調査検討)、天野川(調査検討)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全

湖西圏域 安曇川(河道掘削)、石田川(河道掘削・築堤)、鴨川(河道掘削)、百瀬川(河道掘削)、普通河川の整備・一級河川および普通河川の保全

内水氾濫対策 ○流域下水道(雨水)管渠の整備 ○公共下水道(雨水)管渠等の整備 ○琵琶湖沿岸の内水排除

### 土砂災害対策

○砂防関係施設の整備

流水の貯留機能の拡大 ○既存ダムを活用した事前放流等の実施

流域の雨水貯留機能の向上 ○雨水貯留施設の整備 ○開発行為に伴う調整池の設置 ○森林の整備・保全 ○治山対策

○農地・農業水利施設の整備・保全 ○ため池の整備・保全

既存管理施設の適切な維持管理 ○老朽化対策 ○震震対策

## ■被害対象を減少させるための対策

### 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

○市街化区域新規編入時の土地利用誘導の実施 ○浸水警戒区域指定による建築規制の実施

○浸水警戒区域内での嵩上げ等安全な住まい方の支援

まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実

○地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新 ○ハザードマップの作成

### 浸水範囲の限定・氾濫水の制御

○市町における浸水対策事業

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 土地の水災害リスク情報の充実

○水害履歴調査結果の公表 ○地先の安全度マップによる想定浸水深の公表、更新

あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供

○自治会や小学校等での水害出前講座の実施 ○河川水位計や河川防災カメラの設置と情報提供 ○簡易量水標の設置  
○水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検

### 避難体制等の強化

○特に水害リスクの高い地区における避難計画作成支援 ○避難に資するマップ等の整備・拡充

○避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備 ○広域的な避難計画等の策定支援

○要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施 ○避難行動に資する情報発信等の充実

○自治会等における避難計画および避難行動要支援者の個別避難計画の策定支援

○ハザードマップ、マイ・タイムラインの作成 ○気候変動等を踏まえた気象観測・予測の高度化、監視の強化

○防災士の養成支援

関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化

○河川防災ステーション(水防拠点)整備 ○被災自治体に対する支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行ふ予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。

※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。

※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

※構成員等の対策は代表的な対策を記載している。

ハザードマップ作成(近江八幡市) ハザードマップ作成(栗東市)

都市農地の多面的機能の発揮(大津市)

公共下水道(雨水)整備(草津市)

河川愛護(川さらえ、除草、伐採)(守山市)

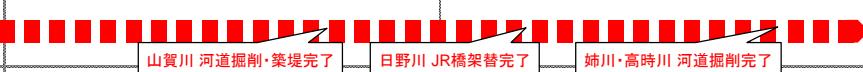
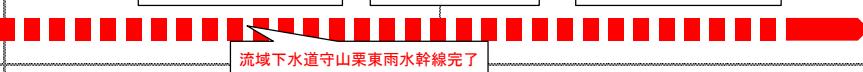
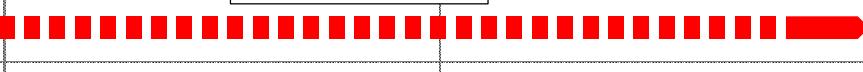
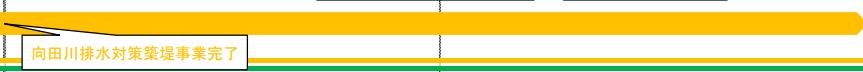
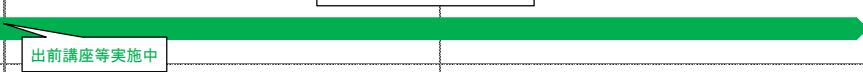
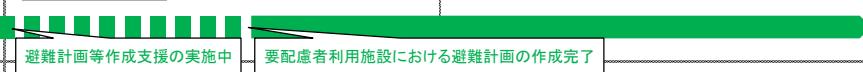
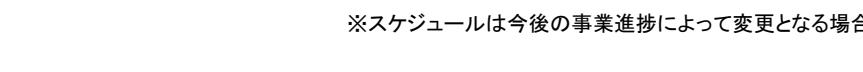
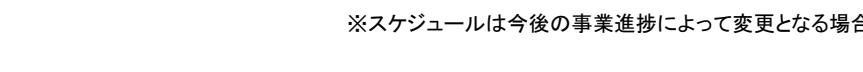
公共下水道(雨水)整備(湖南市)

河川愛護(川さらえ、除草、伐採)(竜王町)

公共下水道(雨水)整備(野洲市)

# 淀川水系流域治水プロジェクト 琵琶湖（滋賀県域）分会【ロードマップ】

- 琵琶湖流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、「流域治水」を推進する。
  - 【短 期】洪水を安全に流下させるため、河道掘削、堤防整備を主に実施すると共に、安全なまちづくりや内水被害軽減対策などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。
  - 【中長期】大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、河川整備や流出抑制策を実施し、あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を継続実施する事により流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	琵琶湖河川事務所、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、守山市、甲賀市、湖南市、高島市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町		
	内水氾濫対策	滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近江市、米原市、日野町、愛荘町、豊郷町、多賀町、琵琶湖開発総合管理所		
	土砂災害対策	滋賀県		
	流水の貯留機能の拡大	近畿農政局、滋賀県、甲賀市、湖南市、栗東市、守山市、野洲市、等		
	流域の雨水貯留機能の向上	滋賀森林管理署、森林整備センター、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、守山市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町		
	既存管理施設の適切な維持管理	琵琶湖河川事務所、琵琶湖開発総合管理所、等		
■被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける 土地利用・住まい方の工夫	滋賀県、大津市、近江八幡市、守山市、甲賀市、東近江市、米原市、愛荘町		
	まちづくりでの活用を視野にした 土地の水災害リスク情報の充実	滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町		
	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	東近江市		
■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	滋賀県		
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	琵琶湖河川事務所、滋賀県、高島市、東近江市、米原市		
	避難体制等の強化	近畿地方環境事務所、彦根地方気象台、滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町		
	関係者と連携した 早期復旧・復興の体制強化	近畿地方整備局、琵琶湖河川事務所、等		

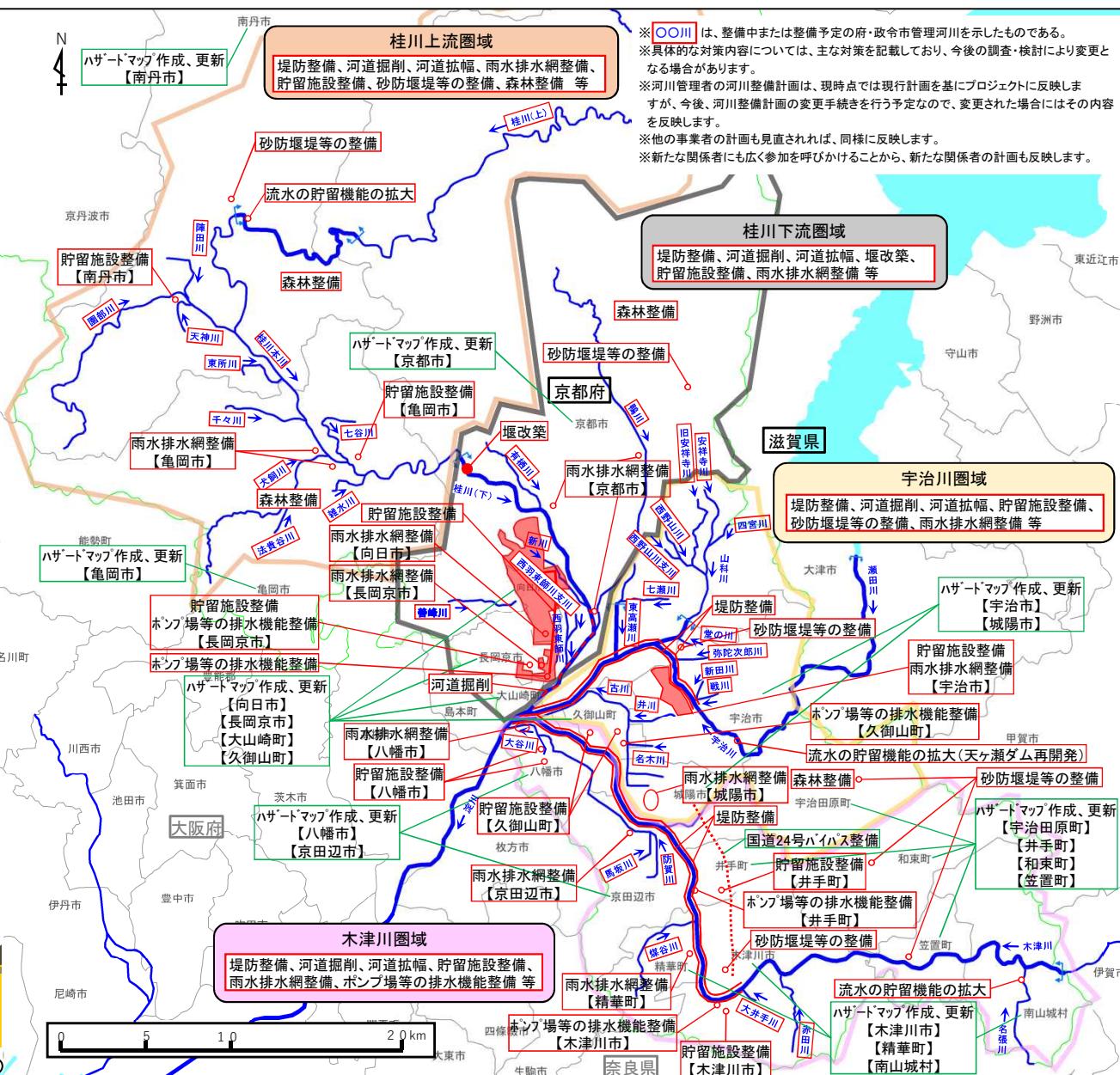
凡例 点線：対策（工事）中、対策計画等作成中  
実線：対策（工事）完了、対策計画等に基づく行動

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【位置図】

～みず・ひと縁る古都を支える流域対策の推進～

- 京都府域では、宇治川、木津川、桂川が1箇所で合流する三川合流点が存在。
- 三川合流点の上流では、合流点の高い水位によるバックウォーター現象から、各河川において、水位が高く洪水が流れにくい状態となるため、内水河川からの排水が困難となり、近年洪水でも内水被害が発生。
- このため、三川合流点への流量の低減や合流時間を分散させ、バックウォーター現象を抑制する対策等を実施する。



## ●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、堰改修
- ・砂防堰堤等の整備
- ・雨水排水網整備、ポンプ場等の排水機能整備
- ・天ヶ瀬ダム再開発
- ・流水の貯留機能の拡大
- ・堆積土砂撤去
- ・河川管理施設等の老朽化対策
- ・河道内樹木の伐採
- ・森林整備
- ・ため池等の整備、貯留施設整備
- ・開発行為に伴う調整池の設置
- ・各家庭等における雨水貯留施設整備への助成 等

## ●被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画策定
- ・条例等に基づき計画している安全なまちづくり

## ●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・地区タイムラインの活用
- ・広域避難計画の策定
- ・要配慮者避難確保計画等の作成、支援
- ・ハザードマップ作成、更新
- ・まるごとまちごとハザードマップの整備
- ・分かりやすい防災気象情報の提供
- ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施
- ・避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実
- ・「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
- ・災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備



# 淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（京都府域）分会【ロードマップ】

～みず・ひと縁る古都を支える流域対策の推進～

- 淀川水系淀川(京都府域)の宇治川、木津川、桂川では上下流・本支川の流域全体を俯瞰しつつ国、府、市町村が一体となって「流域治水」を推進する。雨の降り方次第で、三河川が同時にピーク流量を迎えることもあり、その際は三川合流点が流れにくく、各支川の水位上昇を助長する。このため、淀川水系中流域では三川合流点への到達流量を低減、水位低下を図る流域治水対策が重要であり、以下の手順にて推進する。
  - 【短中期】三川の中で最も流下能力が低い桂川において、河道掘削等を主に実施。
  - 【長期】戦後最大規模の洪水流下時に浸水被害を解消するため、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度を図る。
- あわせて、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水排水網、貯留施設の整備等）などの流域対策、タイムライン活用等のソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削 等	淀川河川事務所 京都府			→ 一の井堰改築完成 (淀川河川事務所)
	流水の貯留機能の拡大	淀川統合管理事務所 琵琶湖河川事務所 水資源機構		天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所)	
	雨水排水網整備 貯留施設整備 (下水道浸水対策事業含む) 等	京都府 久御山町、城陽市、向日市、亀岡市、 大山崎町、京都市、宇治市、八幡市、 井手町 等	【貯留施設整備】 遊水機能を有した公園整備 (亀岡市)	【雨水排水網整備】 公共下水道施設整備事業 (宇治市)	【雨水排水網整備】 公共下水道施設整備事業 (宇治市)
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取り組み（立地適正化計画策定）	長岡京市 等		【計画変更】 (長岡京市)	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ作成・更新 まるごとまちごとハザードマップの整備、避難体制等の強化 等	気象庁、環境省 京都府 木津川市、京田辺市、精華町、宇治田原町、和束町、笠置町、南山城村 等	【避難所標識版の設置】 (木津川市)	局地的豪雨探知システムの利活用促進と ゲリラ豪雨対策アクションプランの策定 (環境省)	
	災害救援に寄与する浸水エリア外の道路ネットワーク整備	京都国道事務所		要配慮者避難確保計画の策定 (京田辺市)	

気候変動  
を踏まえた  
更なる対策  
を推進

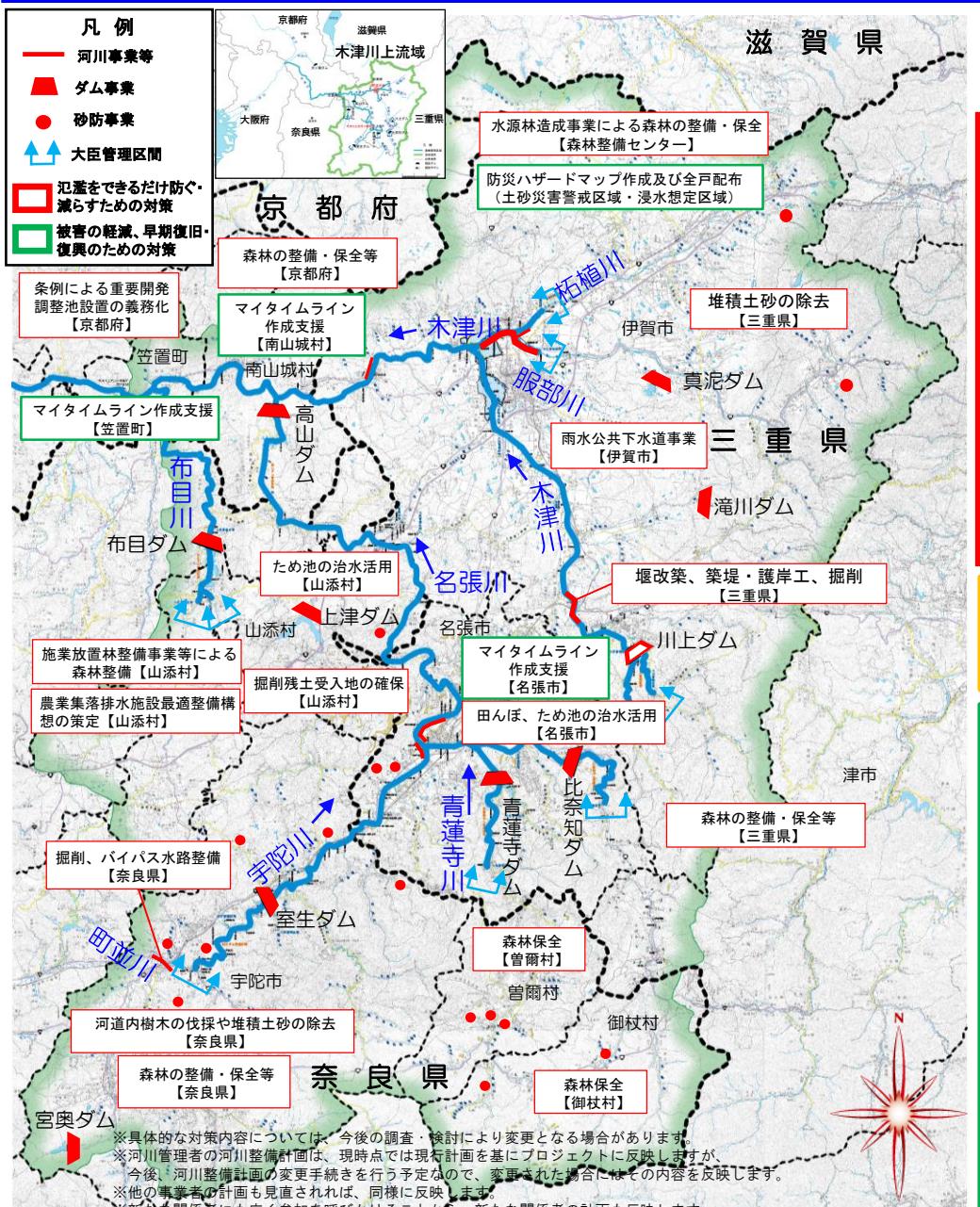
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【位置図】

## ～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

凡 例

- 河川事業等
- ダム事業
- 砂防事業
- ▲ 大臣管理区間
- 洪溢ができるだけ防ぐ・減らすための対策
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



○近年の豪雨や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、淀川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害の軽減を図る。

### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

#### 【洪水氾濫対策】

- ・河道掘削・拡幅、築堤、橋梁架替、堰改築、川上ダム、上野遊水地、バイパス水路、ため池の決壊防止、掘削残土受入地の確保推進

#### 【内水氾濫対策】

- ・下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、雨水ポンプ増強、雨水公共下水道事業の整備



#### 【土砂災害対策】

- ・砂防堰堤、渓流保全工の整備、地すべり対策

#### 【流水の貯留機能の拡大】

- ・川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)
- ・ダム湖の堆砂除去

#### 【流域の雨水貯留機能の向上】

- ・調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用
- ・森林の整備・保全、治山 等

### ■被害対象を減少させるための対策

#### 【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】

- ・土地利用誘導(災害危険区域の指定など)
- ・災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など) 等



### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

#### 【土地の水災害リスク情報の充実】

- ・地形改変等のあった箇所の基礎調査、水害リスク空白域の解消

#### 【あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供】

- ・防災教育の実施、水害履歴の情報発信
- ・ポータルサイトにおける水害リスク情報の充実

#### 【避難体制等の強化】

- ・避難勧告に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成
- ・広域避難計画の策定、多機関連携型タイムラインの拡充
- ・ハザードマップの改良・周知・活用、まるごとまちごとハザードマップの整備
- ・システム等による危険度情報の発信(避難行動に資する高度化)
- ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備、関係機関が連携した実動水防訓練の実施
- ・要配慮者利用施設における避難計画の策定及び避難訓練の促進
- ・水防団や地域住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検
- ・水防活動の担い手となる水防団員や水防協力団体の募集・指定の促進

#### 【関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化】

- ・排水施設情報の共有・排水手法等の検討、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成
- ・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施 等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。  
※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行なう予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。  
※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。  
※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 木津川上流分会【ロードマップ】

## ～淀川の水と緑が組み合う流域治水対策～

- 木津川上流域では流域全体を俯瞰し、国、府県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水対策」を推進する。
  - 【短期】 計画規模洪水を安全に流下させるため、川上ダム建設、橋梁架替や河道掘削、堤防整備を主に実施。
  - 【中長期】 豪雨が頻発・激甚化する中、市街地の浸水被害を防ぐ内水氾濫対策として、ため池や田んぼ等の治水活用を実施。また、大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、森林保全等の流出抑制策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて、内水被害軽減対策（ポンプ場整備等）、水防拠点整備や管理施設の長寿命化対策等を実施する。

区分	対策内容	実施主体	短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	名張川の河道(河床)掘削、引堤、橋梁架替等による洪水氾濫対策	国土交通省		名張引堤Ⅰ期完成(国土交通省)
	名張川、宇陀川、町並川、山田川等の河道(河床)掘削や地下バイパス水路、樹木伐採・堆積土砂撤去等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、奈良県		木津川上林・上神戸地区 堰改築等完成(三重県)
	木津川、服部川、柘植川等の河道(河床)掘削や樹木伐採・堆積土砂撤去等による洪水氾濫対策	国土交通省、三重県、京都府		
	下水道(雨水)管渠等の排水施設整備、雨水ポンプ増強、雨水公共下水道事業の整備	伊賀市		
	砂防堰堤工、渓流保全工の整備、地すべり対策	国土交通省、三重県、奈良県		川上ダム完成 (水資源機構)
	川上ダムの整備、利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、効果的な事前放流の実施(予測精度向上や施設改良)、ダム湖の堆砂除去	農林水産省、水資源機構		
	調整池の整備、田んぼ・ため池等の治水活用、森林の整備・保全、治山 等	農林水産省、三重県、京都府、奈良県 名張市、山添村、曾爾村、御杖村、森林整備センター		
被害対象を減少させるための対策	土地利用誘導(災害危険区域の指定など)、災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備(立地適正化計画策定事業など) 等	名張市 等		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の空白域の解消等による土地の水灾害リスク情報の充実	国土交通省、三重県、京都府、奈良県		
	防災教育の実施等によるあらゆる機会を活用した水灾害リスク情報の提供	国土交通省、水資源機構、三重県、京都府、奈良県		
	避難勧告に着目したタイムラインの策定、マイ・タイムラインの作成等による避難体制等の強化	全ての主体		
	大規模水害を想定した排水計画(案)の作成等による関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	国土交通省、三重県、京都府、奈良県		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

気候変動  
を踏まえ  
た更なる  
対策を  
推進

# 淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【位置図】

## ～濛輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 大阪府域では複数河川が低平地を貫流しており、下流部では人口・資産が集積したゼロメートル地帯が大阪湾へ向けて広がることから洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがある。
- このため、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

### 凡 例

- 堤防整備・河道掘削等
- 雨水幹線、貯留浸透施設等
- 砂防事業
- ポンプ場の増強等

### 神崎川ブロック

- 安威川ダムの構築、砂防事業等
- 森林整備

- 雨水ポンプ増強(安威川流域下水道)(大阪府)
- 雨水貯留管整備
- 雨水排水管渠整備(茨木市)



### 西大阪ブロック

- 安治川等の水門改修、設備耐震対策、地下河川等

- 大規模下水道幹線・雨水ポンプ場の整備
- 雨水貯留施設の整備
- 下水道施設の耐震化・耐水化
- 護岸・堤防・水門の強靭化
- 流域貯留浸透施設の整備等

ハザードマップ作成・更新

### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 高規格堤防整備、築堤、堤防強化
- 河道拡幅・掘削、橋梁架替・改築
- 護岸、落差工改築・撤去
- 砂防事業、森林整備及び保全
- 閘門新設、水門改築、施設耐震補強
- 河川防災拠点整備
- 高架橋緊急避難場所確保
- ダム建設、ダムの堆砂除去
- 事前放流等の実施・体制構築
- 地下河川、流域調節池、遊水地
- 下水道等の排水施設整備・耐水化
- 雨水貯留浸透施設の整備
- 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成
- ため池の治水活用等

### ■被害対象を減少させるための対策

- 土地利用誘導
- 開発行為に対する流出抑制対策指導等

### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 洪水ハザードマップ作成・更新
- ため池ハザードマップ作成
- 防災教育・啓発活動等の推進
- 要配慮者利用施設における避難計画の策定支援
- タイムラインの作成・運用
- ホットライン構築
- 水位計・監視カメラの設置
- 広域避難計画策定
- 分かりやすい防災気象情報の提供
- ゲリラ豪雨対策アクションプラン策定等

### 雨水幹線 事例



※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。  
※河川管理者の河川整備計画は、現時点では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後、河川整備計画の変更手続きを行う予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。

### 雨水貯留施設 事例



※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。  
※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

※○川は、府・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】

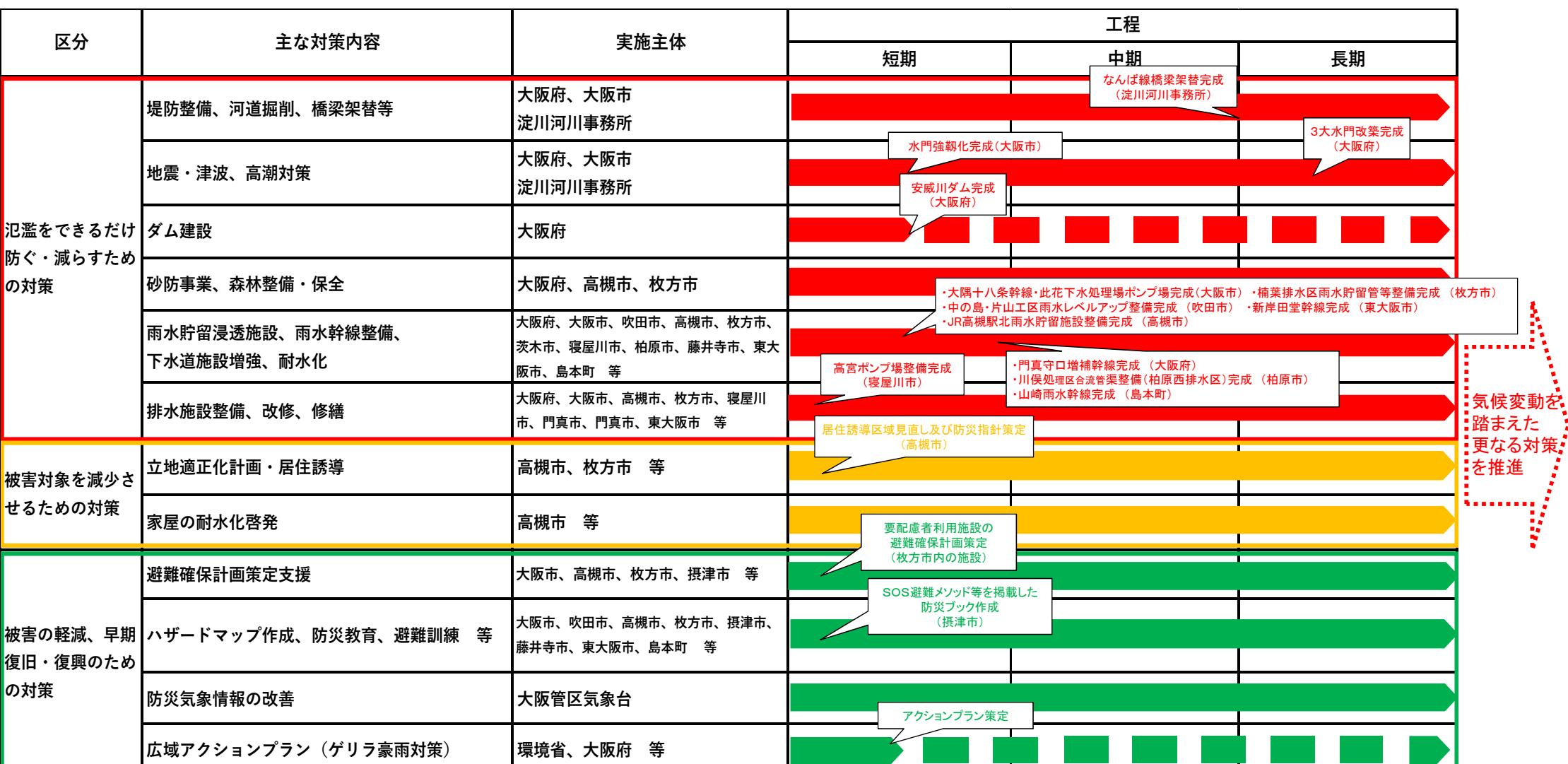
## ～澇輝く関西経済圏を支える流域対策～

● 淀川（大阪府域）では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

大阪府域は複数河川が貫流する低平地に形成された高度な都市構造を有し、洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがあることから、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

【短中期】 計画規模洪水を安全に流下させるため、橋梁架替や河道掘削、堤防整備と併せて、下水道施設整備や貯留浸透施設の整備を推進する。

【長期】 大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、高規格堤防整備や流出抑制策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【位置図】

～総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、淀川水系猪名川流域においても、事前防災対策を進める必要があり、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」をハード・ソフト一体で進めることで洪水を安全に流し、気候変動を踏まえた更なる対策を推進し、流域における浸水被害の軽減を図る。



## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 島の内地区の防災活動拠点の整備、堤防強化等(直轄区間全川含む)
- 左門殿川、神崎川、庄下川の河道(河床)掘削、河道拡幅、築堤、橋梁改築、耐震対策等
- 猪名川上流部(出在家地区・多田院地区等)の河道(河床)掘削、築堤、護岸整備、橋梁改築及び一庫ダムの暫定放流の解消
- 一庫ダム及び箕面川ダムの事前放流等の実施・体制構築  
(関係者:国、兵庫県、大阪府、水資源機構、土地改良区、川西市、伊丹市、尼崎市、池田市、阪神水道企業団など)
- 下水道整備による浸水対策の下水道等の排水施設、流域下水道(雨水)管渠の整備・老朽化、雨水ポンプ増強、市町村における浸水対策事業、下水道吐口の耐震化
- 流出抑制対策の雨水貯留浸透施設の整備、開発行為に伴う調整池の設置、ため池等の治水利用
- 森林整備・保全等の治山対策、砂防事業(堰堤)の推進による雨水・土砂・流木の流出抑制対策 等

## ■被害対象を減少させるための対策

- 建物等の耐水機能の確保・維持(敷地の嵩上げ、電気設備等の上階設置)
- 土地利用誘導(立地適正化計画の見直し等) 等

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 避難に資するマップ等の整備・充実・周知
- 避難勧告等による判断・伝達マニュアルの整備・発令支援
- 避難行動に資する情報発信の充実等
- 防災教育に関する講習会・避難訓練等の実施
- タイムライン(マイ・タイムライン、マイ避難カード、水害対応等)の作成・支援
- 「局地的豪雨探知システム」の利活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
- 兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)への加入促進
- 広域避難体制の構築
- 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- 水位計・監視カメラ・簡易量水標の設置 等



防災活動拠点整備、堤防上道路との接続（国土交通省）



直径3m、延長350mの雨水貯留管整備の掘削立坑（池田市）

※(1)は、府県管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。  
※(2)は、総合治水条例(H24施行)に基づき、河川・下水道対策、流域政策、減災対策の取組を推進中。  
※(3)は、対策内容について、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。  
※(4)は、河川管理者(国)の河川整備計画は、現時段階では現行計画を基にプロジェクトに反映しますが、今後は、河川整備計画の変更手続きを行なう予定なので、変更された場合にはその内容を反映します。  
※(5)は、事業者の計画も見直されることは、同時に反映しまして、変更された場合にはその内容を反映します。  
※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。

# 淀川水系流域治水プロジェクト 猪名川分会【ロードマップ】

～ 総合治水と流域治水による猪名川流域の治水安全度のさらなる向上 ～

○猪名川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

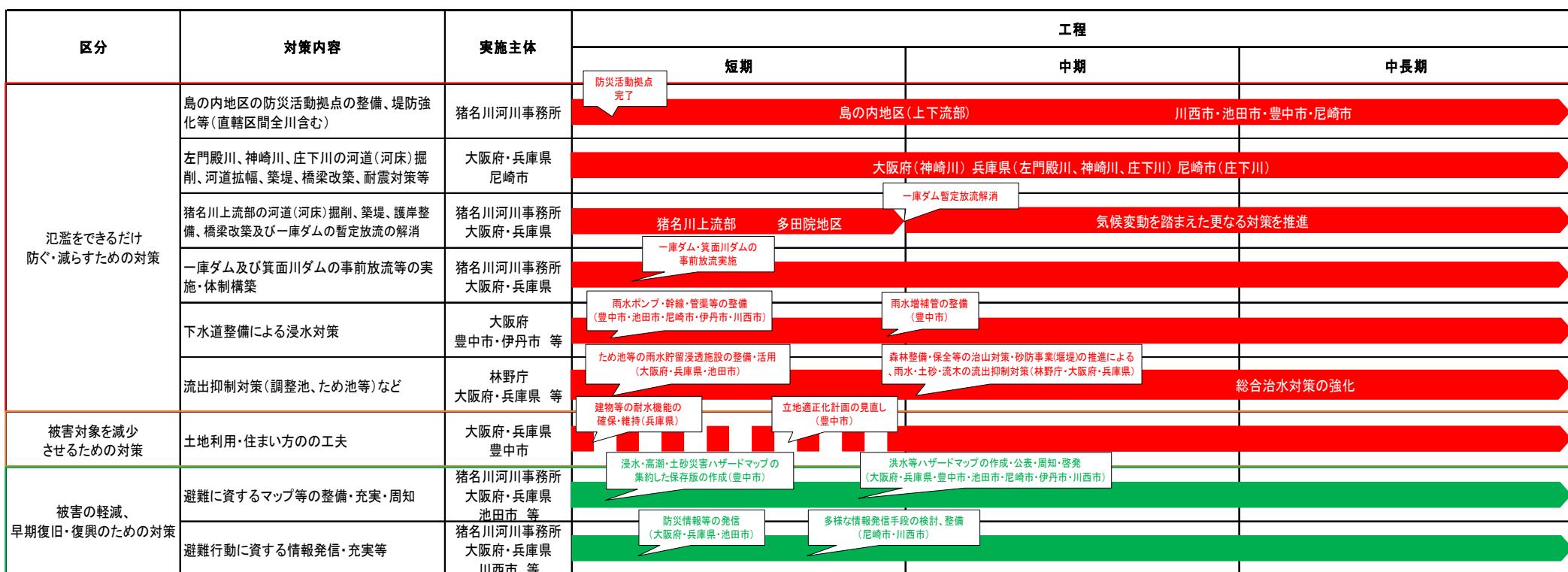
【短 期】猪名川上流部の兵庫県区間（多田院地区等）で築堤・護岸整備・橋梁改築を実施。

猪名川上流部の直轄区間上流（出在家地区）で河道掘削を実施し、河川整備計画メニューを完了。

【中 期】猪名川と藻川に囲まれる島の内地区において、壊滅的な被害を未然に防ぐため、堤防強化を実施。

【中長期】川西市・池田市・豊中市・尼崎市の壊滅的な被害を未然に防ぐため、直轄区間全川の堤防強化を実施。

○あわせて、都市河川である流域の特徴を踏まえ、下水道整備による浸水対策（雨水ポンプ増強等）・流出抑制対策（雨水貯留施設の整備等）の氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策、土地利用誘導の被害対象を減少させるための対策、避難に資するマップ等の被害軽減、早期復旧・復興のための対策を実施。



気候変動  
を踏まえた  
更なる対策  
を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。